１．教育課程表（令和3（2021）年度入学生用）

科目区分			授業科目名	配当年次時期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間数	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実習	履修方法及び卒業要件	資格 保健師	資格 養護教諭	学部共通 人間福祉
基盤科目	人間の理解	人間存在と暮らし	人間関係とコミュニケーション	1前	2			30	○	○		必修3単位＋選択7単位以上（計10単位）			※
			人間心理と人間行動	1前		2		30	○						
			信仰と文化	1後		2		30	○						※
			人間環境と生物科学	1後		1		15	○				◆		
			ケアと人権	1前		1		15	○						※
			人間存在と世界観	1･2･3･4前		2		30	○						※
			宇宙と生命の起源	1･2･3･4前			1	15	○						※
		文化の多様性	国際事情と社会貢献	1前	1			15	○						※
			家族社会学	1･2･3･4後		2		30	○				◆		※
			多文化理解	1･2･3･4前		1		15	○						※
			ジェンダー論	1･2･3･4前		1		15	○						※
			アジア事情	1･2･3･4前		1		15	○						※
			文学	1･2･3･4前			1	15	○						※
			芸術学	1･2･3･4前			1	15	○						※
	地域・社会の理解		ボランティア・住民活動論	1後		2		30	○	○		選択1単位以上			※
			信州・佐久学	1前		1		15	○						※
			消費と経済活動	1･2･3･4前			1	15	○						※
			契約と社会のルール	1･2･3･4前			1	15	○						※
			個と集団	1･2･3･4前			1	15	○						※
			野外活動論	1･2･3･4前			1	15	○	○					※
			災害ボランティア	2･3･4前			1	30	○	○					※
	リテラシーの基礎	情報の理解	コンピュータの基礎演習	1前	1			30		○		必修2単位	◆	■	※
			統計分析の基礎	1後	1			30		○			◆		
			情報管理法	2前			1	30		○					※
		言語の理解	表現技法Ⅰ	1前	1			30		○		必修4単位			※
			表現技法Ⅱ	1後	1			30		○					
			英語Ⅰ	1前	1			30		○				■	※
			英語Ⅱ	1後	1			30		○				■	※
			中国語Ⅰ	1･2･3･4前			1	30		○					※
			中国語Ⅱ	1･2･3･4後			1	30		○					※
			韓国語Ⅰ	1･2･3･4前			1	30		○					※
			韓国語Ⅱ	1･2･3･4後			1	30		○					※
			医療・ケア英会話	3・4前			1	30		○					※
			医療・ケア中国語	3・4前			1	30		○					※
	プロフェッショナリズムの育成Ⅰ		導入基礎演習	1前	2			60		○		必修7単位＋選択2単位以上（計9単位）			
			佐久の医療とケアの歴史	1前	1			15	○						※
			生命倫理	1後	2			30	○						※
			地域生活者交流実習Ⅰ（生活者交流）	1通	1			45			○				
			多職種連携	2前	1			15	○				◆		※
			法学（日本国憲法含む）	1後		2		30	○					■	※
			ヒューマンケア概論	1後		2		30	○						※
	小　　計											26			

科目区分		授業科目名	配当年次時期	単位数			時間数	授業形態			履修方法及び卒業要件	資格		学部共通
				必修	選択	自由		講義	演習	実習		保健師	養護教諭	人間福祉
専門基礎科目	身体のしくみと働き	形態機能学Ⅰ（身体の基盤）	1前	2			60	○			必修6単位			
		形態機能学Ⅱ（成長・維持機能）	1後	2			60	○						
		感染・免疫学	1後	2			30	○						
	健康と予防	生活習慣と健康	1前	2			30	○			必修12単位＋選択2単位以上（計14単位）			※
		病態生理学	1後	2			30	○						
		薬理薬剤学	2前	2			30	○						
		健康障害と治療Ⅰ	2前	2			60	○						
		健康障害と治療Ⅱ	2通	2			60	○						
		健康障害と治療Ⅲ	2後	2			60	○						
		食と健康	1後		2		30	○				◆		※
		遺伝と健康	2後		2		30	○						
		運動と健康Ⅰ	1･2･3･4前		2		30	○	○				□	※
		運動と健康Ⅱ	1･2･3･4後		2		30	○	○				□	※
		足と健康（基本）	1前		1		15	○						※
		足と健康（応用）	4前		1		15	○	○					
	保健と社会福祉	公衆衛生学	2前	2			30	○			必修6単位	◆		
		社会福祉の基礎	1前	1			15	○				◆		
		保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			15	○				◆		※
		保健医療福祉行政論Ⅱ	4後			1	15	○				◆		
		疫学・保健統計	2前	2			30	○				◆		
		ソーシャルワーク入門	1･2･3･4後			2	30	○				◆		※
		生活学原論	2･3･4後			2	30	○						※
	小　　計										26			
専門科目	看護の基盤	看護基礎理論	1前	1			15	○			必修13単位			
		生活援助論Ⅰ（日常生活援助）	1後	2			60	○	○					
		生活援助論Ⅱ（診療の補助技術）	2前	2			60	○	○					
		EBN実習Ⅰ（看護職の役割）	2前	1			45			○				
		EBN実習Ⅱ（看護の展開）	2通	2			90			○				
		看護展開論	1後	2			60	○	○					
		感染看護論	2前	1			15	○						
		フィジカルアセスメント	1後	1			30		○					
		リハビリテーション看護論	2後	1			30	○						
	看護の展開 地域看護	在宅看護概論Ⅰ（療養者の生活）	2前	1			15	○			必修8単位	◆		
		在宅看護概論Ⅱ（支援制度と多職種連携）	2後	1			15	○				◆		
		公衆衛生看護学概論	2後	2			30	○				◆		
		在宅看護援助論	3前	2			60	○	○			◆		
		公衆衛生看護活動展開論	3前			2	60	○	○			◆		
		公衆衛生看護援助・管理論	4通			2	60	○	○			◆		
		在宅看護論実習	3後	2			9			○		◆		
		公衆衛生看護学実習	4後			2	90			○		◆		
	看護の展開 成人看護	成人看護学概論	2前	2			30	○			必修10単位			
		成人看護援助論Ⅰ（急性期）	2後	2			60	○	○					
		成人看護援助論Ⅱ（回復・慢性期）	3前	2			60	○	○					
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3後	2			90			○				
		成人看護学実習Ⅱ（回復・慢性期）	3後	2			90			○				
	看護の展開 老年看護	老年看護学概論	2後	2			30	○			必修6単位			
		老年看護援助論	3前	2			60	○	○					
		老年看護学実習	3後	2			90			○				

科目区分			授業科目名	配当年次時期	単位数			時間数	授業形態			履修方法及び卒業要件	資格		学部共通 人間福祉
					必修	選択	自由		講義	演習	実習		保健師	養護教諭	
専門科目	看護の展開	小児看護	小児看護学概論	2後	2			30	○			必修6単位			
			小児看護援助論	3前	2			60	○	○					
			小児看護学実習	3後	2			90			○				
		母性看護	母性看護学概論	2後	2			30	○			必修6単位			
			母性看護援助論	3前	2			60	○	○					
			母性看護学実習	3後	2			90			○				
		精神看護	精神看護学概論	2後	2			30	○			必修6単位			
			精神看護援助論	3前	2			60	○	○					
			精神看護学実習	3後	2			90			○				
	プロフェッショナリズムの育成Ⅱ		看護倫理学	2後	2			30	○			必修11単位			
			地域生活者交流実習Ⅱ（支援の実際）	4通	1			45			○				
			看護管理論	4前	2			30	○						
			看護リスクマネジメント	4後	1			15	○						
			地域包括ケア論	4前	1			15	○	○			◆		※
			看護総合実習	4前	4			180			○		◆		
	看護の探究		看護研究方法Ⅰ（基本）	2後	2			3	○			必修5単位	◆		
			看護研究方法Ⅱ（応用）	4前	1			15	○				◆		
			看護学研究	4通	2			60		○			◆		
	看護の発展		災害看護論	4前	1			30	○			必修3単位＋選択1単位以上（計4単位）	◆		
			家族看護論	3前	1			15	○						
			多文化看護論Ⅰ（多様性理解と看護）	2後	1			15	○						
			多文化看護論Ⅱ（海外演習）	4前		2		60		○					
			看護情報論	3前		1		15	○				◆	■	
			看護教育論	4前		1		15	○						
			がん看護論	4前		1		15	○						
	小　　計											75			
卒業要件単位数												127	(27)	(7)	(44)

【卒業要件及び履修方法】

基盤科目　　：必修16単位、選択10単位以上
専門基礎科目：必修24単位、選択2単位以上
専門科目　　：必修74単位、選択1単位以上
合　　計　　：127単位以上（必修114単位、選択13単位以上）

【履修上の注意】

1．保健師国家試験受験資格の取得を希望する場合は、受験資格取得要件科目（◆印）を修得しなければならない。
なお、公衆衛生看護援助・管理論及び公衆衛生看護学実習は、受験資格取得要件科目履修者（20名程度）のみが履修できる。
2．保健師国家試験受験資格取得要件科目履修者は、看護総合実習は公衆衛生看護学（市町村における地域健康支援実習）を選択しなければならない。
3．保健師免許を基礎資格として養護教諭二種免許状の授与申請を希望する場合は、上記１・２に加えて、申請に必要となる科目（■印）を修得しなければしなければならない。
なお、□印は、どちらかを一科目を修得する。

２．教育課程表（平成24（2012）年度～令和2（2020）年度入学生用）

注）科目名の末尾に※印のある科目は、平成28年度以降に科目名称、配当年次・時期、時間数のいずれかを変更した科目を示す。
また、＊印のある科目は、平成28年度をもって廃止した科目を示す。詳細は、備考欄を参照すること。
今年度開講する科目については、「開講授業科目一覧」を参照すること。

科目区分			授業科目名	配当年次時期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間数	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実習	履修方法及び卒業要件	保健師	養護教諭	備考
基本教育科目	総合的視野の養成	人間の理解	人間存在と道徳意識※	1前		2		30	○			必修2単位＋選択6単位以上			R02配当時期変更
			人間心理と人間行動	1前		2		30	○						
			人間関係とコミュニケーション	1前	2			30	○						
			健康管理と生活習慣※	1後		2		30	○						H30配当時期変更
			人間環境と生物科学※	1後		2		30	○				◆		H30･R02配当時期変更
			計						—			8	—	—	
		社会の理解	社会生活と法律問題※	1後		2		30	○			選択8単位以上		■	H28配当時期変更
			現代社会と家族関係	1後		2		30	○						
			国際社会と国際貢献※	1前		2		30	○						H28配当時期変更
			地域社会と生活文化	1前		2		30	○						
			地域支援と地域活動	1後		2		30	○						
			計						—			8	—	—	
	基本的素養の養成	英語	基礎英語Ⅰ※ 旧：基礎英語Ⅰ（基礎）	1前	1			30		○		必修2単位		■	H28科目名称変更
			基礎英語Ⅱ※ 旧：基礎英語Ⅱ（応用）	1後	1			30		○				■	H28科目名称変更
			実践英語Ⅰ※ 旧：実践英語Ⅰ（基礎）	2前			1	30		○					H28科目名称変更
			実践英語Ⅱ※ 旧：実践英語Ⅱ（応用）	2後			1	30		○					H28科目名称変更
			計						—			2	—	—	
		日本語	表現技法Ⅰ※ 旧：表現技法Ⅰ（作文・論文）	1前	1			30		○		必修2単位			H28科目名称変更
			表現技法Ⅱ※ 旧：表現技法Ⅱ（発表・討論）	1後	1			30		○					H28科目名称変更
			表現技法Ⅲ（読解・分析）＊	(2前)			1	30		○					H28科目廃止 H29～履修不可
			計						—			2	—	—	
		情報	情報処理法	1前	1			30		○		必修2単位	◆	■	
			統計分析法	1後	1			30		○			◆		
			情報管理法	2前			1	30		○					
			計						—			2	—	—	
	演習		導入基礎演習	1前	2			60		○		必修2単位			
			計						—			2	—	—	
専門教育科目	専門基礎科目	人間と生命	形態機能学Ⅰ（細胞・組織学）	1前	2			60	○			必修8単位			
			形態機能学Ⅱ（器官系）	1後	2			60	○						
			感染・免疫学	1後	2			30	○						
			生命倫理	1前	2			30	○						
			遺伝と健康	2後			2	30	○						
			計						—			8	—	—	
		健康と予防	病態生理学	1後	2			30	○			必修10単位＋選択2単位以上			
			健康障害と治療Ⅰ	2前	2			60	○						
			健康障害と治療Ⅱ※	2通	2			60	○						H29配当時期変更
			健康障害と治療Ⅲ	2後	2			60	○						
			薬理薬剤学※	2前	2			30	○						H31配当時期変更
			食と健康	1後		2		30	○				◆		
			運動と健康	2前		2		45	○	○				■	
			計						—			12	—	—	

科目区分			授業科目名	配当年次時期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間数	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実習	履修方法及び卒業要件	保健師	養護教諭	備考
専門教育科目	専門基礎科目	保健と福祉	保健衛生学	1後	2			30	○			必修4単位＋選択2単位以上	◆		
			社会福祉学	2前	2			30	○				◆		
			保健医療福祉行政論	2後		2		30	○				◆		
			疫学・保健統計	2前		2		30	○				◆		
			計						—			6	—	—	
	看護の基本		看護基礎理論	1前	2			30	○			必修17単位			
			生活援助論Ⅰ（日常生活援助）	1後	2			60	○	○					
			生活援助論Ⅱ（診療の補助技術）	2前	2			60	○	○					
			EBN（Evidence-Based Nursing）実習Ⅰ※	2前	1			45			○				H28科目名称、配当年次変更
			旧：基礎看護学実習Ⅰ（地域・施設・病院）	(1前)											
			EBN（Evidence-Based Nursing）実習Ⅱ※	2通	2			90			○				H28科目名称、配当時期変更
			旧：基礎看護学実習Ⅱ（病棟）	(2後)											
			看護展開論※	1後	2			60	○	○					H28科目名称、配当年次変更
			旧：看護過程論	(2後)											
			看護倫理学※	2後	2			30	○						H29配当時期変更
			感染看護論	2前	2			30	○				◆		
			フィジカルアセスメント※	2前	1			30		○					H29配当時期変更
			リハビリテーション看護論	2後	1			30	○				◆		
			計						—			17	—	—	
	看護の展開	成人看護	成人看護学概論	2前	2			30	○			必修12単位			
			成人看護援助論Ⅰ（急性期）	2後	2			60	○	○					
			成人看護援助論Ⅱ（回復・慢性期）	3前	2			60	○	○					
			成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3後	3			135			○				
			成人看護学実習Ⅱ（回復・慢性期）	3後	3			135			○				
			計						—			12	—	—	
		老年看護	老年看護学概論※	2後	2			30	○			必修6単位			H29配当時期変更
			老年看護援助論	3前	2			60	○	○					
			老年看護学実習	3後	2			90			○				
			計						—			6	—	—	
		精神看護	精神看護学概論※	2後	2			30	○			必修6単位			H28配当時期変更
			精神看護援助論	3前	2			60	○	○					
			精神看護学実習	3後	2			90			○				
			計						—			6	—	—	
		小児看護	小児看護学概論	2後	2			30	○			必修6単位			
			小児看護援助論	3前	2			60	○	○					
			小児看護学実習	3後	2			90			○				
			計						—			6	—	—	
		母性看護	母性看護学概論	2後	2			30	○			必修6単位			
			母性看護援助論	3前	2			60	○	○					
			母性看護学実習	3後	2			90			○				
			計						—			6	—	—	
		地域看護	地域看護学概論	2後	2			30	○			必修8単位	◆		
			地域看護援助論Ⅰ（在宅看護）	3前	2			60	○	○			◆		
			地域看護援助論Ⅱ（地域健康支援）	3前			2	60	○	○			◆		
			地域看護システム論	4前	1			15	○				◆		
			地域看護援助論Ⅲ（地域健康支援システム）※	4通			2	45	○	○			◆		H31配当時期変更
			在宅・地域看護学実習	3後	3			135			○		◆		
			地域看護学実習	4後			3	135			○		◆		
			計						—			8	—	—	
	総合		看護総合実習	4前	3			135			○	必修3単位	◆		
			計						—			3	—	—	

科目区分		授業科目名	配当年次時期	単位数			時間数	授業形態			履修方法及び卒業要件	保健師	養護教諭	備考
				必修	選択	自由		講義	演習	実習				
専門教育科目	看護の発展と探究	看護研究方法※	2後	2			30	○			必修9単位＋選択2単位以上	◆		H28時間数変更 H29配当年次・時期変更
		旧：看護研究方法	(3前)											
		看護学研究	4通	3			90		○			◆		
		看護管理論	4前	2			30	○						
		看護リスクマネジメント	4後	1			15	○						
		災害看護論※	4前	1			30	○				◆		H28配当時期変更
		看護情報論	3前		1		15	○				◆	■	
		家族看護論	3前		1		15	○						
		看護教育論※	4前		1		15	○						H28配当時期変更
		国際看護論※	4前		2		60		○					H28配当時期変更
		がん看護論	4前		1		15	○						
		計						—			11	—	—	
卒業要件単位数								—			125	—	—	

【卒業要件及び履修方法】
基本教育科目：必修10単位、選択14単位以上
専門教育科目：必修95単位、選択6単位以上
合　　計：125単位以上（必修105単位、選択20単位以上）

【履修上の注意】
1．保健師国家試験受験資格の取得を希望する場合は、受験資格取得要件科目（◆印）を修得しなければならない。
なお、地域看護援助論Ⅲ（地域健康支援システム）及び地域看護学実習は、受験資格取得要件科目履修者（20名程度）のみが履修できる。
2．保健師国家試験受験資格取得要件科目履修者は、看護総合実習は地域看護学（市町村における地域健康支援実習）を選択しなければならない。
3．保健師免許を基礎資格として養護教諭二種免許状の授与申請を希望する場合は、上記１・２に加えて、申請に必要となる科目（■印）を修得しなければしなければならない。